

甲府西高 3年次だより

*If Winter comes,
can Spring be far behind?*

12月となり11月中の温かい日々もだんだん遠のき、木枯らしの冷たさが身に染みるようになってきました。季節は確実に冬へと歩みを進めていることを実感する毎日となっています。さて、昨年の今頃を振り返ってみると、修学旅行を目前に控えウキウキ・ワクワクの毎日だったことと思います。あれからもう1年が経過してしまったんだと考えると1年は、いや高校3年間の学校生活はほんととあっという間だなと思わずにいられないのではないのでしょうか。

思い起こせば、みんなは新大学入試1期生として高校生活がスタートし、「センター試験が共通テストに変わる」「マーク式の問題に加えて記述式も採用になる」「英語の4技能試験が導入される」「主体的性をはかる多面的・総合的な評価のためポートフォリオが導入される」など様々な改革がうたわれていました。しかし、昨年11月に英語の4技能を図るための外部検定試験の導入や、数学と国語で実施予定だった記述式の導入が見送られ、さらには年明けからの新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、多くの大学で入試形態の変更等を余儀なくされる事態となっています。そうした中で今みんなは、様々な不安に苛まれていることと思います。

人間は誰も未知のものに対し不安や恐れを感じるものです。新型コロナウイルスに対する恐れなどはまさにそうだし、みんなにとっての大学入試もそうでしょう。そして我々は未知のものに直面するについ「それから逃げ出したい」「早く楽になりたい」と考えがちです。そう考えること自体は致し方のないことかもしれませんが、まだ見ぬ先のことについてあれこれ想像ばかりしているのは、思考にとらわれ過ぎた状態です。頭で何とか処理しようとすればするほど、不安は増幅し、行動に移せなくなるものです。そんな時は未知のものに対する恐怖や不安を打ち消そうとするのではなく、もっと今やっていること、目の前のことに集中し、余計なことを考える時間を減らすようにすることで。19世紀に活躍したイギリスのロマン派詩人パーシー=ビッシュ=シェリーは「If Winter comes, can Spring be far behind? (冬来たりなば、春遠からじ)」という言葉を残していますが、私はそれをこんな風に考えます。「冬(困難)が訪れた先には必ず春(未来)が来るが、どんな春を迎えるかは、その冬をどう過ごしたかによる」。つまり温かい穏やかな春を迎えたいければ、厳しい冬に立ち向かいそれを乗り越えようとする勇氣が必要なのではないのでしょうか。今年の冬がどんな冬になるのかは誰にもわかりません。未知のものを恐れすぎず、目の前のことに集中して地道な努力を続けていけば、きっとみんなの前に温かく穏やかな春が訪れることでしょう。



共通テストまで残り46日、現役生は最後まで伸びます。Never Give Up! 西高生

保護者のみなさまへ

■12月24日・25日は3年次生登校日です。

新型コロナウイルスの影響による3年次生の登校日数不足解消のため、12月24日、25日の2日間を3年次生だけの登校日とさせていただきます。この両日は共通テスト前の最後の模擬試験として共通テストリハーサルを実施します。共通テストを受験する者はもちろん、受験しない者も登校日となりますのでご承知おきください。保護者の皆様には年度末のお忙しい時期に申し訳ありませんが、よろしくお願いたします。

■生徒向け入試情報サイト「マナビジョン」にも大学入試変更点まとめページができました。

ベネッセコーポレーションの運営する「マナビジョン」というHPに上記のまとめページがあります。2021年度入試の各大学が発信している新型コロナウイルスの対応や、選抜方法の変更点などがまとめられています。受験予定の大学の最新情報が確認できているか改めて見てみてください。

※このページに記載されている入試情報が、すべての大学の公開情報を掲載しているわけではないそうですので、ご注意ください。



【12月の行事予定】

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	火	A フードドライブキャンペーン	17	木	A
2	水	A フードドライブキャンペーン	18	金	A
3	木	A	19	土	
4	金	A 原付免許取得者集会	20	日	
5	土		21	月	A きずなの日
6	日		22	火	B 推薦合格者内定集会
7	月	B	23	水	B 短縮50分授業(①~③) 報告会、全校集会、大掃除
8	火	B	24	木	行 共通テストリハーサル ※3年登校日
9	水	B	25	金	行 共通テストリハーサル ※3年登校日
10	木	B	26	土	
11	金	B	27	日	
12	土		28	月	冬季休業(～1/6)
13	日		29	火	学校閉庁日(～1/3)
14	月	A	30	水	
15	火	A	31	木	
16	水	A			

■3年次に新たに所属した先生方からの寄稿

第4回は、3組副担任の輿水先生です。

過ぎた夏の思い出

3組副担任 輿水 秀人

思いもよらないことであるもんだ。だいぶ前のような気がするけど、まだ一年ちょっと前のこと。沖縄修学旅行の直前に、まさかの首里城炎上。本能寺の変かと驚いた。それからわずか2カ月くらい後に、中国の武漢で発生した新型コロナウイルスがアツという間に世界中に拡散。2月以降は新型コロナが毎日のニュースになり、3月の卒業式も異例の事態。東京オリンピックの延期も決まった。4月の入学式もできず、リモートのHRやオンライン授業がスタート。5月18日からは午前・午後の分散登校がはじまり、6月25日からやっと通常時制に。それから暑い夏。そして秋は足早に過ぎて、冬になった。

そういえば、分散登校だった6月18日のこと。午前の部が終わった清掃のとき、鳳凰館掃除の生徒が玄関でヤモリを見つけた。ただちに捕獲命令！ オイ、ヨッ、コリヤ。男子生徒がGETした。タッパーに入れたヤモリを持って歩いていると、理科の松田先生に遭遇。「エサは何をやればいいですか？」と尋ねたら、「コオロギですよ。生きたヤツじゃないと食べません。」と教えてくれた。ために松田先生の授業で生徒たちの間をグル我家で暮らすことになったヤモリは、ゲッコ翌日、半信半疑でコオロギを買いに行っのテーブルに原寸大写真付きのメニュー表をう？」と大真面目にいう。「えっ？じゃあSSず10匹。」 本当だった。それにしてもコオジ袋入り活コオロギを持ち帰ったのは人生初。



盛夏。コオロギを自家繁殖させようと奮闘！ それにしても可愛くない。外来種らしい。鳴かない。やっぱり日本の鳴く虫がイイ。ってことで、本屋さんで鳴く虫の図鑑を買った。虫の種類ごとにQRコードが付いていて、スマートフォンで読みとると鳴き声が出る。まっ昼間から何度も聴く。外ではセミが鳴き、スマホからマツムシやカンタン、カネタタキなどの声。まだ秋は先だ。やっぱり、QRコードより本物だな。庭に出ると木の幹や葉にセミの茶色い抜け殻を三～四個発見。地中からはい出て、それぞれの場所に登って羽化したのだ。その日は富士山がよく見えた。コロナで今年は登山禁止だから、きっと山頂は静かなんだろうな。子どもみたいに抜け殻を指でつまんで富士の稜線を登らせた。よいしょ、よいしょ。山頂に到着。中から羽化したばかりの青白いセミが出た。そして飛んだ。(頭が変！じゃなくて空想ネ)

みなさん！つらい登りはあと少し。高校生活の山頂に立つために、もう一息！ そしたら飛びたつんだ。自分が立った場所からネ。躊躇なく。(ココが大事！)

冬が近づいた今、ゲッコちゃんはウ～トウト半冬眠状態です。来年、温かくなったらね、SSの美味しそうな活コオロギあげるヨ。

その日の午後、ヤモリはイモリとの比較のグル回されてフラフラに。その日の夜からちゃんと命名された。オスらしい。た。ペットショップのお姉さんが、レジ横置いて、「SS・S・M・Lのどれにしましょう。」「何匹ですか？」「えーっと、とりあえろギ1匹15円。思いもよらなかった。レ